



比治山生のその先をセンパイに聞く!

# HIJIYAMA TALK

現代文化学部 言語文化学科 日本語文化コース  
卒業生の声

学生時代の経験を活かして  
地域で活躍する卒業生のもとへ、  
在学生が話を聞きに行きました。

## 卒業生



満田 拓弥さん  
'18年卒

○広島工業大学高等学校出身  
広島市信用組合 己斐支店に勤務。お客様に預金や融資の提案、相談を行う渉外を担当する。

## 在学生



児森 健人さん  
3年※

○広島県立安芸府中高等学校出身  
日本文学に興味があり比治山大学へ入学。教員免許の取得を目指しながら、漢字検定などにも挑戦中。

※取材当時の学年です

<児森> 僕は日本文学や日本語に興味があってこの学科に入学しました。国語科教員を目指して教職課程の授業も選択していますが、学校の先生だけではなく広く教育関係の仕事が気になっています。満田さんはどんな風に就職活動を進めましたか？

<満田> 就活解禁と同時に説明会へ行くことからスタートしました。いろんな企業の話聞いていく中で、金融系が自分には向いているのかなということ、働き方として土日休みがいいなと考えていたので、それらをポイントに就活を進めていきました。実は、この学科に入学した当時は国語科教員になりたいと思っていたのですが、教職課程を含めてさまざまな授業を受ける中で仕事について考えた時、自分には一般企業の方が合っているかと思い、今に至ります。

<児森> 満田さんも教職の授業を受けられていた時期があったんですね。僕は学校の先生だけではなくて教育関係の一般

企業にも興味があるんですが、ジャンルを絞って就活しようと思ったらどのようにすれば良いのでしょうか？



自分で積極的に  
情報収集していく姿勢も大切です。

<満田> まずは就活サイトに登録してみるのがおすすめです。大学にキャリア支援の授業があってその中で登録方法とかを教えてくれるから、その時に登録するのがスムーズかもしれませんね。就活サイトの中ではジャンルを絞って説明会などの情報を検索できるので、そこで教育系を選べばある程度の情報はキャッチできると思います。あとはキャリアセンターで調べたり先生に聞いてみたり、自分で積極的に動いて情報収集することも大切だよ。



**<児森>** キャリア支援の授業は1年生のころからあって出席しているので、これから就活サイトの話も出てくるんですね。実際に就活が始まるのは3年生の終わりだと思いますが、2年生のうちからでも何か準備できることや身につけておいた方が良いスキルってありますか？

**<満田>** 早くから準備できることとしては、企業研究かな。児森くんみたいに希望分野が決まっているなら、今からでも充分進められると思います。例えば教育系なら、学習塾や教科書販売の会社とかが挙がってくるかな。その教育系の会社は今どんな動きになっているのかなど、業界研究も併せてできればもっと良いですね。自分自身は就活が実際に始まってから同時に企業研究をした感じだったので、早くやっておけばよかったなと後で思ったんです。ちなみに今は、何かアルバイトとかはしている？

**<児森>** コンビニでしています。

**<満田>** それなら、例えば塾でアルバイトしてみるのも一つの方法かもしれません。教育の仕事現場というものがアルバイトを通して少しでも分かるんじゃないかなと思います。スキルとしてはやっぱりコミュニケーション能力が必要ですね。これについては授業で学べるとかではなくて、サークルやアルバイトなどで人と関わる機会を増やしていくことが重要です。人見知りせずに、はきはきと話せることが一番。ただこのコミュニケーション力は、面接などでのアピールになるわけではないなと個人的には感じました。絶対みんな話すことだから、自分は面接の場ではそれを強みとして話さなかったですね。



**自分ならではの強みを見つけることが大切なんですね。**

**<児森>** コミュニケーションスキルは、どちらかというとな基本的なことであって、持っていて当然という感じなんですか。

**<満田>** そうですね、コミュニケーションスキルは基礎として持っていて、それ以外の部分を強みとして話せるようにしておいた方が良いと思います。僕の場合はサークルで部長をしていたので、「周囲をよく見て気配りできます」と伝えるようにしました。サークルにしろアルバイトにしろ、強みは自分



担当エリアを回る時は、バイク移動が中心。暑さや寒さ、雨など天候にも左右されるので、自身の健康管理も大切な仕事の一つだと感じています。



入社してからも、日々専門知識を磨いていく必要があります。ファイナンシャルプランナーをはじめとした資格など、実務と並行して勉強します。

の経験談からしっかり伝えるということも重要なと思います。

<児森> お話を聞いて、自分の強みを見つけることが大切なんだなと改めて感じました。就活中は分からないことがあったら誰かに教えてもらったりしましたか？

<満田> キャリアセンターをたくさん活用しました。履歴書を書く時は内容をチェックしてもらっていたし、何か困ったことがあれば親身に相談のってくださる職員の方もいるので、頼りにするといいですよ。面接とか、企業によってはSPIがあったりするけど、それもキャリアセンターで対策講座をやっているしね。

<児森> 満田さんは今の職場で働いてみて、仕事のやりがいはどこなところに感じていますか？

<満田> お客様に頼りにしていただいた時ですね。お客様のうれしそうな表情や言葉と一緒にその実感が持てた時はやりがいにつながっているなと感じます。担当するエリアのお客様のもとへ伺って預金や融資の提案、相談を行う営業をしていますが、地域とかなり密着している仕事でもあるので、地域貢献にもつながればいいなと思いながら外回りをしています。

<児森> やりがいの持てる仕事に就けるように、教職の勉強も就活もしっかり準備していこうと思います。今日はありがとうございました。

<満田> 教職も就活も、周りに流されずに自分を信じて取り組んでいくことが大切なのかなと思います。頑張ってください！



社会人になって、スケジュール管理の重要性を再認識。急遽の対応もできるよう、余裕を持ってスケジュールを組むことを意識しています。